

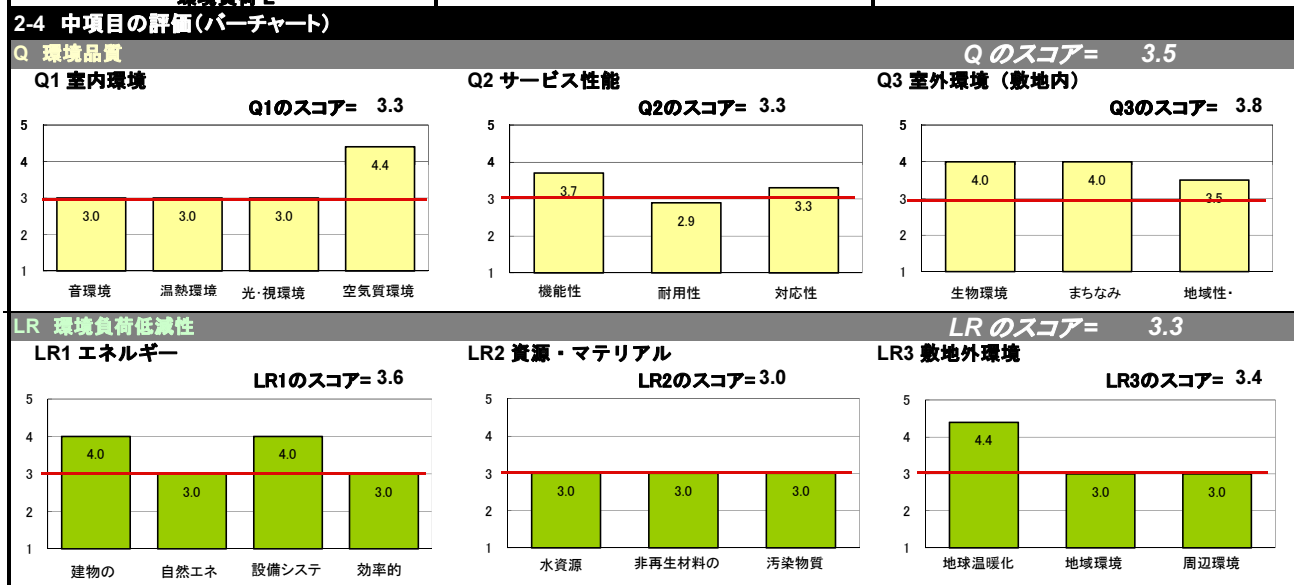
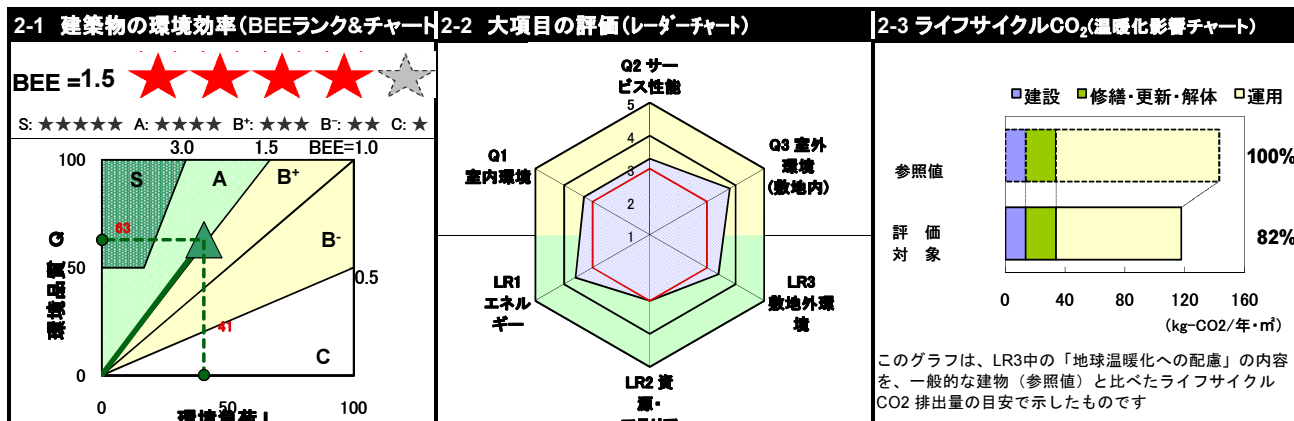


新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	アーケレイ株式会社 新サイエンスパーク	階数	地上3階/地下1階/塔屋1	
建設地	京都府京都市	構造	S造	
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	640 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,920 時間/年	
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2010年10月 予定	評価の実施日	2009年9月8日	
敷地面積	10,765 m ²	作成者		
建築面積	4,560 m ²	確認日		
延床面積	16,789 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 「緑のオアシス・擁翠園」という土地を利用し、既存の庭園、樹木の保存し、緑と建物が共存することを目指した。		注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 施設内に死角となる部分を少なくし、施設の利用状況を常時監視できるようにしている。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 高さのある吹抜空間に良好なナレッジスペースをとり、外部の池、樹木のある景観、光をとりいれるようにし	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 既存樹木を極力保存する建物の配置としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 有害物質を含まない材料及びオゾン層破壊物質の少ない材料の使用。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 周りの住居への影響を考慮し、建物ボリュームを低く抑えた。建物と外部環境の間には生垣により通り抜け景観の良好な環境に変化を与えないよう配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される